

# 事業報告書

(自平成20年4月1日至平成21年3月31日)

## 1. 事業の概況

### (1) 平成20年度の事業概況

当財団は、住友グループ20社が現在の住友の諸事業の礎である別子銅山の開坑300年を記念して設立したもので、「人類社会の直面する諸問題の解決・改善を目的とする諸分野における研究及び事業に対し、国際的な視野をもって、時代の要請に適った助成を行い、もって人類の豊かな社会建設に資することを目的とする」助成財団として、平成3年9月25日に内閣総理大臣の設立許可を得て助成事業を開始しました。

第18期の平成20年度は、5つの公募助成プログラムにおける応募件数が合計2,210件と引き続き高水準となる中で、非公募のその他助成を含めた総助成件数は過去2番目に多い262件、総助成金額は前年度比1千1百万円余増加して過去最高の3億8千3百万円余となりました。

経理面では、世界的金融危機の影響等で一部保有債券の相場が大幅に下落し、巨額の減損処理を余儀なくされました。一方、評価損を除く運用収益は前年度対比増加し、助成金増をカバーしたものの、減損処理を主因として当期一般正味財産は8億3千5百万円余減少し、期末残高は22億3千7百万円余となりました。

ただし、住友各社より基金として5億1千5百万円余の寄附を受けましたので、指定正味財産は増加して185億6千3百万円余となり、当期末の正味財産残高は208億1百万円余となりました。

	助成件数(前年度比)	助成金額(前年度比)
(イ) 基礎科学研究助成	93件(-21件)	140,000千円(±0千円)
(ロ) 環境研究助成	57件(-8件)	100,000千円(±0千円)
(ハ) 文化財維持・修復事業助成	27件(-1件)	60,360千円(+270千円)
(ニ) 海外の文化財維持・修復事業助成	16件(+3件)	38,659千円余(+10,032千円余)
(ホ) アジア諸国における日本関連研究助成	67件(+9件)	42,347千円余(+2,085千円余)
(ヘ) その他助成	2件(-1件)	2,000千円(-1,000千円)
合 計	<u>262件(-19件)</u>	<u>383,366千円余(+11,386千円余)</u>

なお、平成20年12月1日に公益法人制度改革新法が施行されたのに伴い、当財団は所定の手続きを経たうえで、平成21年1月26日に公益財団法人への移行認定申請を内閣総理大臣宛に提出しました。

### (2) 経理の状況

平成20年秋以降、世界的金融危機の影響等で保有債券の一部が大幅に値下がりし、8億5千1百万円余の減損処理(経常外損失)を余儀なくされました。ただし、住友各社か

らの寄附金により運用残高が増加したことから、評価損を除く運用収益は5億1千4百万円余と前年度を上回り、雑収益も加わって経常収益は5億1千5百万円余となりました。

一方、公募助成プログラムにおける高水準の応募件数に応じて、助成金額合計は3億8千3百万円余と前年度に比べ1千1百万円余増加しました。また債券の評価損1千4百万円余を計上したことから、助成金以外の事業費と管理費は合計で1億1千6百万円余と前年度比1千1百万円余増加し、経常費用は4億9千9百万円余となりました。この結果、当期経常増減額は1千5百万円余の増加となりましたが、一般正味財産は減損処理の影響により、8億3千5百万円余減少して期末残高は22億3千7百万円余となりました。

他方、平成19年3月に、住友各社が平成23年9月末までの間に総額25億円の基金積み増しを決定し、そのうち5億1千5百万円余を指定正味財産として当期中に受け入れましたので、指定正味財産は増加して期末残高は185億6千3百万円余となり、一般正味財産と指定正味財産を合計した当期末の正味財産残高は208億1百万円余となりました。

### (3) 平成20年度の助成

平成20年3月6日開催の理事会・評議員会で決定・承認された事業計画に基づいて、以下の助成を行いました。

#### (イ) 基礎科学研究助成

重要でありながら研究資金が不十分とされている基礎科学研究、とりわけ若手研究者による萌芽的研究に助成を行うもので、平成20年4月15日～6月末に公募したところ、応募件数で前年度比13件減の1,289件、助成申請金額で同2億3千万円余減の33億6千万円余の応募がありました。

下記の13名の先生に選考委員を委嘱し、書面審査並びに7月15日及び9月3日開催の選考委員会で厳正な選考が行われ、93件の助成対象候補が選ばれました。

選考委員長	野依 良治	理化学研究所	理事長
選考委員	井上 佳久	大阪大学	教授
	大野 公一	東北大学	教授
	岡野 栄之	慶應義塾大学	教授
	勝本 信吾	東京大学	教授
	川崎 雅司	東北大学	教授
	楠岡 成雄	東京大学	教授
	坂野 仁	東京大学	教授
	佐藤 文彦	京都大学	教授
	下山 勲	東京大学	教授
	常深 博	大阪大学	教授
	鍋島 陽一	京都大学	教授
	横山 茂之	東京大学	教授

選考委員会の選考結果に基づき、平成 20 年 10 月 16 日開催の理事会・評議員会において審議の結果、93 件、助成金総額 1 億 4 千万円(事業計画通り)の助成対象を決定しました。

採択者に対する助成金の交付は平成 20 年 11 月より行いました。

助成対象の明細は添付資料の通りです。

#### (ロ) 環境研究助成

人類の直面している最大の問題の一つである環境問題に、研究助成という形で取り組んでいるもので、環境に関する様々な視点(人文・社会科学分野、自然科学分野)からの研究に助成を行っています。

「一般研究」と「課題研究」(本年度募集課題:新たな政策提言に資する環境研究)について、平成 20 年 4 月 15 日～6 月末に公募したところ、応募件数で前年度比 83 件減の 541 件(内課題研究同 5 件増の 26 件)、助成申請金額で同 2 億 3 千 8 百万円余減の 16 億 7 千 5 百万円余(内課題研究 1 億 9 千 5 百万円余)の応募がありました。

下記の 7 名の先生に選考委員を、1 名の先生に専門委員を委嘱し、書面審査並びに 7 月 31 日及び 9 月 16 日開催の選考委員会で厳正な選考が行われ、57 件(内課題研究 3 件)の助成対象候補が選ばれました。

選考委員長	茅 陽一	東京大学	名誉教授
選考委員	及川 武久	筑波大学	名誉教授
	木村 真人	名古屋大学	教授
	越 光男	東京大学	特任教授
	盛岡 通	大阪大学	教授
	山口 光恒	東京大学	特任教授
	吉田 尚弘	東京工業大学	教授
専門委員	高野 裕久	国立環境研究所	環境健康研究領域 領域長

選考委員会の選考結果に基づき、平成 20 年 10 月 16 日開催の理事会・評議員会において審議の結果、一般研究 54 件、課題研究 3 件、助成金総額 1 億円(事業計画通り)の助成対象を決定しました。

採択者に対する助成金の交付は平成 20 年 11 月より行いました。

助成対象の明細は添付資料の通りです。

#### (ハ) 文化財維持・修復事業助成

「心の豊かさ」と「文化」を大切にし、人類共通の財産である文化財を後世に継承するため、日本国内にある美術工芸品の維持・修復事業を対象として助成しているもの

で、平成 20 年 10～11 月に公募したところ、80 件（前年度比 2 件減）、助成申請金額で 1 億 9 千 8 百万円余（同 2 百万円余減）の応募がありました。

下記の 3 名の先生に選考委員を委嘱し、書面審査並びに平成 20 年 12 月 24 日及び平成 21 年 1 月 30 日開催の選考委員会で厳正な選考が行われ、27 件の助成対象候補が選ばれました。

選考委員	田邊三郎助	町田市立博物館 館長
	三輪 嘉六	九州国立博物館 館長
	渡邊 明義	平山郁夫シルクロード美術館 顧問

選考委員会の選考結果に基づき、平成 21 年 3 月 18 日開催の理事会・評議会において審議の結果、添付資料記載の 27 件、助成金総額 6 千万円余（事業計画比微増）の助成対象を決定しました。

採択者に対する助成金の交付は平成 21 年 3 月より行っております。

## （二）海外の文化財維持・修復事業助成

上記（ハ）と同じ趣旨に加えて国際交流の観点から、海外にある文化財（美術工芸品及び遺跡）の維持・修復事業とその事前調査（維持・修復に直接つながるもの）を対象として助成しているもので、平成 20 年 10～11 月に公募したところ、13 カ国（文化財の所在では 22 カ国）から 33 件（前年度比 1 件減）、助成申請金額で 9 千 6 百万円余（同 1 千 4 百万円余減）の応募がありました。

国内の文化財と同一の選考委員会で選考の上、平成 21 年 3 月 18 日開催の理事会・評議員会において審議の結果、添付資料記載の 16 件、助成金総額 3 千 8 百万円余（事業計画比 1 千 3 百万円余増）の助成対象を決定しました。

採択者に対する助成金の交付は平成 21 年 4 月より行っております。

## （ホ）アジア諸国における日本関連研究助成

国際相互理解増進の観点から、主に東アジアと東南アジア諸国における日本に関連する人文・社会科学分野の研究に対して助成を行っているもので、平成 20 年 9～10 月に公募したところ、12 の国・地域から、267 件（前年度比 9 件増）、助成申請金額で 2 億 5 千 6 百万円余（同 2 千 1 百万円余減）の応募がありました。

下記の 2 名の先生に選考委員を、9 名の先生に専門委員を委嘱し、書面審査及び平成 21 年 2 月 13 日開催の選考委員会で厳正な選考が行われ、67 件の助成対象候補が選ばれました。

選考委員	国分 良成	慶應義塾大学 教授
	白石 昌也	早稲田大学 教授
専門委員	伊藤 友美	神戸大学 准教授
	高橋 伸夫	慶應義塾大学 教授

竹内 郁雄	東京農工大学 准教授
長田 彰文	上智大学 教授
中野 聡	一橋大学 教授
松田 康博	東京大学 准教授
丸川 知雄	東京大学 教授
山本 信人	慶應義塾大学 教授
吉村 真子	法政大学 教授

選考委員会の選考結果に基づき、平成 21 年 3 月 18 日開催の理事会・評議員会において審議の結果、添付資料記載の 67 件、助成金総額 4 千 2 百万円余(事業計画比 2 百万円余増)の助成対象を決定しました。

採択者に対する助成金の交付は平成 21 年 3 月より行っております。

#### (へ) その他助成

この助成プログラムは、理事会・評議員会の直接の決定により

- ①本財団の将来のプログラム展開上、意義大と思われる研究及び事業に対する助成
- ②緊急を要するもので本財団としての対応が必要と認められる研究及び事業に対する助成
- ③事業計画に掲げた助成プログラムと関連し、これを補充、強化する研究及び事業に対する助成

等を行うもので、本年度は、平成 20 年 3 月 6 日及び平成 21 年 3 月 18 日開催の理事会・評議員会において決定された添付資料記載の 2 件、2 百万円の助成を実施しました。

助成金の交付は、助成決定後順次行いました。

## 2. 役員・評議員（平成 21 年 3 月 31 日現在）

（50 音順）

役名	氏名	主たる職業	備考
会長 理事長 常務理事 理事	杉村 隆	国立がんセンター 名誉総長	
	住友吉左衛門	住友金属工業 技監	
	宮川 康雄	(常勤)	
	池端 雪浦	東京外国語大学 名誉教授	
	石 弘光	放送大学 学長	
	奥 正之	三井住友銀行 頭取	
	奥田 碩	トヨタ自動車 取締役相談役	
	勝俣 恒久	東京電力 会長	
	熊谷 信昭	兵庫県立大学 学長	
	小林庄一郎	関西電力 顧問	
	佐々木 元	日本電気 会長	
	高橋 温	住友信託銀行 会長	
	長尾 真	国立国会図書館 館長	
	三浦 朱門	作家	
	吉川 弘之	産業技術総合研究所 理事長	
	森田松太郎	A R I 研究所 理事長	
	横山 進一	住友生命保険 会長	
	渡邊 利夫	拓殖大学 学長	
	安部 正一	住友倉庫 社長	
	監事 評議員	岡 素之	住友商事 会長
小川富太郎		住友ベークライト 社長	
小田切康幸		住友大阪セメント 会長	
茅 陽一		東京大学 名誉教授	
グレゴリー・クラーク		国際教養大学 副学長	
古在 由秀		国立天文台 名誉教授	
小林 俊一		秋田県立大学 理事長 兼 学長	
下妻 博		住友金属工業 会長	
竹市 雅俊		理化学研究所 発生・再生化学総合研究センター長	
田丸 謙二		東京大学 名誉教授	
中村 吉伸		住友重機械工業 社長	
西原 春夫		早稲田大学 名誉教授	
野依 良治		理化学研究所 理事長	
平山 郁夫		日本美術院 理事長	
藤本 勝司	日本板硝子 会長		
梶田 和彦	住友軽金属工業 社長		
山田 康之	奈良先端科学技術大学院大学 名誉教授		

役員・評議員共に任期は平成 19 年 7 月 1 日～平成 21 年 6 月 30 日です。

### 期中の異動

平成 21 年 2 月 15 日 理事退任 西島 和彦 (逝去)  
平成 21 年 2 月 20 日 評議員退任 神谷 不二 (逝去)

### 3. 職 員（平成 21 年 3 月 31 日現在）

職 名	氏 名	任用年月日	担当業務
事務局長	宮川 康雄	平成18年 6月 8日	全 般
総務部長	井上 耕一	平成19年 7月 1日	総務経理
企画部 助成担当部長	榊原 眞一	平成20年 8月 1日	助成事業
〃	渡邊 正博	平成20年 4月 1日	〃
〃	中山 達弥	平成11年 4月 1日	〃
〃	佐藤 清貴	平成17年11月 1日	〃
総務部員	大場 純子	平成13年 3月21日	総務経理
企画部員	飯塚たま代	平成20年 8月 1日	助成事業
顧問	石川 睦夫	平成19年 7月 1日	特命事項

#### 期中の異動

企画部 助成担当部長	渡邊 正博	平成 20 年 4 月 1 日任用
助成担当部長	栗田口 和久	平成 20 年 7 月 31 日退任
助成担当部長	榊原 眞一	平成 20 年 8 月 1 日任用
企画部員	飯塚 たま代	平成 20 年 8 月 1 日任用
企画部員	藤平 祐美	平成 20 年 8 月 31 日退任

### 4. 主要事業日誌

平成 20 年 4 月 15 日～6 月 30 日 「基礎科学研究助成」及び「環境研究助成」公募

6 月 6 日 第 51 回評議員会

平成 19 年度事業報告及び決算承認

6 月 6 日 第 59 回理事会

平成 19 年度事業報告及び決算承認

7 月 15 日 「基礎科学研究助成」 第 1 回選考委員会

7 月 31 日 「環境研究助成」 第 1 回選考委員会

9 月 3 日 「基礎科学研究助成」 第 2 回選考委員会

9 月 1 日～10 月 31 日 「アジア諸国における日本関連研究助成」公募

9 月 16 日 「環境研究助成」 第 2 回選考委員会

10 月 1 日～11 月 30 日 「文化財維持・修復事業助成」公募

「海外の文化財維持・修復事業助成」公募

10 月 16 日 第 52 回評議員会

平成 20 年度「基礎科学研究助成」助成先(93 件)承認

平成 20 年度「環境研究助成」助成先(57 件)承認

平成 21 年度「環境研究助成」『課題研究』のテーマ承認

平成 20 年度収支予算の補正及び助成基金指定の承認

選考委員選任承認

- 10月16日 第60回理事会  
 平成20年度「基礎科学研究助成」助成先(93件)決定  
 平成20年度「環境研究助成」助成先(57件)決定  
 平成21年度「環境研究助成」『課題研究』のテーマ決定  
 平成20年度収支予算の補正及び助成基金指定の決定  
 選考委員選任
- 12月15日 第61回理事会  
 最初の評議員選任方法決定
- 12月15日 最初の評議員選任方法認可申請提出（総務大臣宛）
- 12月17日 最初の評議員選任方法認可
- 12月24日 「文化財維持・修復事業助成」「海外の文化財維持・修復事業助成」  
 第1回選考委員会
- 平成21年1月22日 第53回評議員会  
 最初の評議員候補者決定  
 定款の変更の案決定  
 理事、監事及び評議員に対する報酬等の支給の基準（案）決定  
 助成基金規程改定承認  
 経理規程改定承認  
 公益財団法人への移行認定申請承認
- 1月22日 第62回理事会  
 最初の評議員候補者決定  
 定款の変更の案決定  
 理事、監事及び評議員に対する報酬等の支給の基準（案）決定  
 助成基金規程改定決定  
 経理規程改定決定  
 公益財団法人への移行認定申請決定
- 1月23日 最初の評議員選定委員会  
 最初の評議員選任
- 1月26日 公益財団法人への移行認定申請提出（内閣総理大臣宛）
- 1月30日 「文化財維持・修復事業助成」「海外の文化財維持・修復事業助成」  
 第2回選考委員会
- 2月13日 「アジア諸国における日本関連研究助成」選考委員会
- 3月18日 第54回評議員会  
 平成20年度「文化財維持・修復事業助成」助成先(27件)承認  
 平成20年度「海外の文化財維持・修復事業助成」助成先(16件)  
 承認

平成 20 年度「アジア諸国における日本関連研究助成」助成先  
(67 件) 承認

平成 20 年度「その他助成」助成先(1 件)承認

平成 21 年度収支予算及び事業計画承認

平成 21 年度「その他助成」助成先(1 件)承認

選考委員及び選考専門委員選任承認

3 月 18 日 第 63 回理事会

平成 20 年度「文化財維持・修復事業助成」助成先(27 件)決定

平成 20 年度「海外の文化財維持・修復事業助成」助成先(16 件)  
決定

平成 20 年度「アジア諸国における日本関連研究助成」助成先  
(67 件) 決定

平成 20 年度「その他助成」助成先(1 件)決定

平成 21 年度収支予算及び事業計画決定

平成 21 年度「その他助成」助成先(1 件)決定

選考委員及び選考専門委員選任